

様式1 **平成30年度 清瀬市立清瀬第五中学校 学校評価計画**

学校の教育目標	育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動
思索・和敬・剛健	生徒の「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を育成する。

目指す学校像(ビジョン)	【目指す学校像】 ○生徒にとって楽しく行きがいのある学校 ○保護者にとって親しみがあり、地域に根ざした学校 ○教職員にとって自己研鑽に励み、協力して進める学校 【目指す児童・生徒像】 ○和敬 思いやりのある人 ○思索 深く静かに考える人 ○剛健 たくましくがまん強い人 【目指す教師像】 ○常に生徒のことを第一に考える教師 ○生徒のためという同一の視点に立って協力し、体罰を許さぬ教師 ○自己研鑽に励み授業改善に取り組む教師
---------------------	--

前年度までの学校経営上の成果と課題	「自分は、わからなかったことがわかるようになっていく。」の割合が他の項目に比べると満足度が低い。主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、何ができるようになったかを生徒により理解させていく。
--------------------------	--

柱	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標(評価基準)	成果指標(評価基準)
確かな学力の向上	学力の定着を図り、学ぶ喜びのある授業分かる	誰もが分かる授業の展開	各教科で言語活動(「かわりタイム」等)を意図的に設定し、生徒の主体的で対話的な学習活動を促し、学びを深める。	4 具体的方策に係る指導の実施率90%以上	4 生徒の自己評価で、満足度90%以上
			目標(学習めあて)の提示・導入の工夫・めあてと板書内容を使った振り返り	3 具体的方策に係る指導の実施率80%以上90%未満 2 具体的方策に係る指導の実施率70%以上80%未満 1 具体的方策に係る指導の実施率70%未満 4 教員の自己評価で、肯定的評価90%以上 3 教員の自己評価で、肯定的評価70%以上 2 教員の自己評価で、肯定的評価50%以上 1 教員の自己評価で、肯定的評価50%未満	3 生徒の自己評価で、満足度80%以上90%未満 2 生徒の自己評価で、満足度70%以上80%未満 1 生徒の自己評価で、満足度70%未満 4 保護者へのグループインタビューで、「極めて良好」(申し分なく達成)と評価 3 保護者へのグループインタビューで、「良好」(概ね達成した)と評価 2 保護者へのグループインタビューで、「もう一歩」(やや下回った)と評価 1 保護者へのグループインタビューで、「奮起を期待」(大きく下回った)と評価
豊かな心の育成	思いやりのある生徒の育成を図る	いじめの未然防止、早期発見を全教職員での取組み	いじめ調査を定期的実施し、実態を把握する。	4 実施回数年間5回以上 3 実施回数年間4回以上 2 実施回数年間2回以上 1 実施回数年間2回未満	4 生徒の満足度の評価A(児童・生徒の80%以上) 3 生徒の満足度の評価B(児童・生徒の50%以上~80%未満) 2 生徒の満足度の評価C(児童・生徒の30%以上~50%未満) 1 生徒の満足度の評価D(児童・生徒の30%未満)
	心の教育の充実を図るために、感動や喜びのある体験活動を推進する。	体験学習のねらいを「チームで働く力」「考え抜く力」「前に踏み出す力」の育成に置き、生徒の主体性を育てる。	農園活動や農業体験、赤ちゃんのチャラPJを「命と人権教育」として実施する。	4 具体的方策に係る指導の実施率90%以上 3 具体的方策に係る指導の実施率80%以上90%未満 2 具体的方策に係る指導の実施率70%以上80%未満 1 具体的方策に係る指導の実施率70%未満	4 生徒の自己評価で、満足度90%以上 3 生徒の自己評価で、満足度80%以上90%未満 2 生徒の自己評価で、満足度70%以上80%未満 1 生徒の自己評価で、満足度70%未満
健やかな体の育成	健やかな体を育成する	オリンピック、パラリンピアンなどの外部講師や外部指導員による講演や実技指導の機会を設ける。	オリンピック、パラリンピアンなどの外部講師や外部指導員による講演や実技指導の機会を設ける。	4 体力向上に関わる学習活動を年間5回以上実施 3 体力向上に関わる学習活動を年間3回以上実施 2 体力向上に関わる学習活動を年間1回以上実施 1 体力向上に関わる学習活動を実施することができなかった	4 生徒の自己評価で、満足度90%以上 3 生徒の自己評価で、満足度80%以上90%未満 2 生徒の自己評価で、満足度70%以上80%未満 1 生徒の自己評価で、満足度70%未満
		セーフティ教室や薬物乱用防止教室を外部講師の招へいや生徒会活動などを通して実施し、生徒の主体性を育てる。	セーフティ教室や薬物乱用防止教室を外部講師の招へいや生徒会活動などを通して実施し、生徒の主体性を育てる。	4 教職員の自己評価で、肯定的回答90%以上 3 教職員の自己評価で、肯定的回答80%以上90%未満 2 教職員の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満 1 教職員の自己評価で、肯定的回答70%未満	4 生徒の自己評価で、満足度90%以上 3 生徒の自己評価で、満足度80%以上90%未満 2 生徒の自己評価で、満足度70%以上80%未満 1 生徒の自己評価で、満足度70%未満
本校の特色①	通常の学級における特別支援教育の充実を図る。	特別支援教育への理解を深め、支援を要する生徒の視点を踏まえた授業の工夫・改善に取り組む。	ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業(教師の言葉かけや授業の進め方等)の実施や、教室環境の整備を推進する。	4 教員の自己評価で、肯定的評価90%以上 3 教員の自己評価で、肯定的評価70%以上 2 教員の自己評価で、肯定的評価50%以上 1 教員の自己評価で、肯定的評価50%未満	4 保護者へのグループインタビューで、「極めて良好」(申し分なく達成)と評価 3 保護者へのグループインタビューで、「良好」(概ね達成した)と評価 2 保護者へのグループインタビューで、「もう一歩」(やや下回った)と評価 1 保護者へのグループインタビューで、「奮起を期待」(大きく下回った)と評価
	教師の授業力の向上を図る。	読解力・思考力を高める授業の工夫・改善に取り組む。	全教職員が研究授業を1回以上行う。	4 全員が1回以上実施 3 実施率80%以上 2 実施率60%以上 1 実施率60%未満	4 教職員の達成度の評価A 3 教職員の達成度の評価B 2 教職員の達成度の評価C 1 教職員の達成度の評価D
本校の特色②	開かれた学校と地域連携を深める。	開かれた学校(P.T.Aや地域の教育活動への参画を進め、学校地域支援本部と協働し、学校運営に反映させる。	ホームページの充実を図るために、毎日のアクセス数700以上を目指す。	4 アクセス数が1日700回以上 3 アクセス数が1日500回以上 2 アクセス数が1日300回以上 1 アクセス数が1日100回以上	4 保護者の満足度A 3 保護者の満足度B 2 保護者の満足度C 1 保護者の満足度D
		学校支援地域本部と協働し、生徒の健全育成に努める。	道徳授業地区公開講座等の学校行事の共催行事を企画し実施する。	4 全学年で、地域の人材を活用 3 3分の2以上の学年で、地域の人材を活用 2 3分の1以上の学年で、地域の人材を活用 1 地域の人材の活用が未実施	4 生徒の満足度の評価A 3 生徒の満足度の評価B 2 生徒の満足度の評価C 1 生徒の満足度の評価D